

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域に、 の「関心・意欲・態度」の観点を設けています。該当する領域において、 に示したような「関心・意欲」の見える言語活動を行っていれば、概ね満足もしくは十分満足という考え方です。

また、大問2には、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」をまとめて出題していますが、「読むこと」「書くこと」の領域においても、関連する問題を設定しています。

大問・領域等										1			話すこと 聞くこと	
中問										(1)	(2)	(3)		
小問														
審										①	②	③		
概ね満足できる解答状況										・ し育員		○ 次の三つの観点のうち、二つの観点を満たしている。 ① さとみさんのスピーチの中で心に残ったことを話している。 ② 心に残った理由を話している。 ③ 自分の将来の夢を話している。	○ さとみさんの夢について、心に残ったことを話そうとしている。	・ さとみさんの動物園のし育員になりたいというゆめはいいなと思いました。それは、わたしも動物が好きだからです。 等
十分満足できる解答状況										・ 動物園のし育員（になること）	ウ	○ 上記三つの観点を全て満たしている。 ・ さとみさんのスピーチで心に残ったのは、ゆめのために、犬や金魚の世話を続けているところからです。なぜなら、自分から進んでやっているからです。わたしのゆめはサッカー選手になることです。さとみさんのように、せっきよく的にかんばろうと思います。 等	○ さとみさんの夢について、自分の考えをもち、さとみさんに伝えるように話そうとしている。	

伝統的な 言語文化 と国語の 特質に関 する事項										2		
(1)			(2)			(3)		(4)	(5)			
①	②	③	①	②	③	①	②	③				
⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭			

[illegible]